

脳卒中とは、脳の血管が詰まったり破れたりして、脳がダメージを受ける病気です。脳卒中は、日本人の死亡原因の第4位(※1)で、また寝たきりの原因の第1位(※2)を占めています。

※1 平成23年(2011)人口動態統計(確定数)の概況より ※2 平成22年 厚生労働省 国民生活基礎調査の概況より



脳卒中には、脳の血管がつまる「**脳梗塞**」、脳内の血管が破れる「**脳出血**」、脳表面の血管にできた動脈瘤が破裂する「**くも膜下出血**」の3つのタイプがあります。この中で、最近は「脳梗塞」による入院患者さんが増え、脳卒中のうち約7割を占めるようになっていきます。

さて、皆さんの中には脳梗塞について、急に意識が遠くなって倒れる、という印象を持っておられる方も多いのではないのでしょうか？確かにそれは間違いではありませんが、脳梗塞の症状がいつも急激に現れるとは限りません。**脳梗塞が起きる前の症状**、つまり“**前触れ**”が起きることもあります。**この段階で治療を受ければ、多くの場合重大な症状に至らずに済みますので、脳梗塞の前触れの症状を知っておくことは、大切なことです。**



脳梗塞の前触れの症状

- 片腕や片足の力が“だらん”とぬける(特に体の右半分または左半分)
- からだの片側がしびれる、口元がしびれる
- ろれつが回らない、言葉がうまくでてこない
- 急に歩きづらくなり、片側に倒れそうになる
- 目の半分为“すーっ”と見えなくなる、ものが2重にみえる



脳梗塞の前兆・前触れの症状のことを、「一過性脳虚血発作(英語での頭文字をとってTIAとも呼ばれます)」と言います。TIAは一時的に血液の固まり(血栓)が脳の血管に詰まることで起こります。症状は24時間以内、多くは短時間(通常は30分以内)に自然に消えてしまいます。これは、詰まっていた血栓が溶けることで血流が回復するからです。

しかし、TIAは軽い症状と見過ごしてはいけない危険な発作です。TIAを起こした人のうち3カ月以内に6人に1人が脳梗塞を発症し、その半数が48時間以内であるとのデータもあります。

TIAは治療しなくても短時間で自然に症状が消失してしまうため、ともすれば本人や家族に軽視または無視されがちですが、**早期に脳梗塞を起こす可能性の高い救急疾患**なのです。

TIAを起こした後は、脳梗塞を起こさないように生活習慣を見直して危険因子をしっかりとコントロールしましょう。

- 血圧やコレステロール・血糖値をしっかりとコントロールすること
- ただちに禁煙すること
- 食事と運動で体重をコントロールすること



TIAは、いわば「がけっぷち警報」ですから、症状が出たら専門病院を受診し、すぐに検査を受けて対処することが大切です。



独立行政法人 労働者健康福祉機構 **関西ろうさい病院**
 尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代)

HP <http://www.kanrou.net/>

携帯版HP <http://kanrou-mobile.jp/>

ブログ <http://kanrou.blog106.fc2.com/>

発行人 林 紀夫 編集人 堤 圭介

